

北海道建築士会ブロック協議会事業報告書

ブロック名	道央ブロック
報告者	道央ブロック長 石塚 尚也
事業名	第1回道央ブロック協議会
開催日時	平成25年04月13日(土)
開催場所	千歳市防災学習交流センター「そなえーる」 千歳市北信濃 631-11 Tel. 0123-26-9991
参加者数	研修会 24名 協議会 24名
参加支部	札幌(5名)・小樽(3名)・後志(2名)・恵庭(7名)・空知(2名)・千歳(3名)・岩内(1名) ※道北ブロック 上富良野(1名)
事業内容 問い合わせ先	代表者氏名 石塚 尚也 E-Mail : ado.ishi@gol.com 連絡先(勤務先) TEL・FAX (株)石塚建築設計事務所 T0123-33-3856・F0123-33-3870

事業内容

【体験会】

「そなえーる」施設体験会

□グループに分かれて、地震体験・通報体験・予防体験・煙避難体験・避難器具体験などを行った。中でも地震体験は、震度1～7を体験するのみではなく、今まで日本で起こった大地震の実際の揺れ方を再現したものも体験することが出来た。それぞれの地震によって揺れ方がまったく違うことが分かり大変勉強になった。



★地震体験の様子

(上部に設置された揺れ方を示すモニターを見ている)

報 告

事業内容

【研修会】

「北海道の地震・活断層について」

□講師

丹波 泰哉（千歳支部）

山川 力（千歳支部）

伊藤 洋平（千歳支部）

宇野 真市（千歳市役所 建築課）

□内容

現在の日本は、南海トラフを震源域とする地震、首都直下地震など「地震静穏期」から「巨大地震活動期」へと入っており、巨大地震がいつ起きてもおかしくない状況です。私たちの住んでいる北海道は一見、地震空白域のように思えますが調査により多数の活断層が確認されています。この活断層は一般的に知られていません。今回の研修では北海道の地震・活断層を知り、その地震によってどのような被害があるのか、又、行政の耐震促進の取組み及び補助について学びます。



★研修会の様子

（千歳支部のメンバー自ら講師となり、説明を行う）

【協議会】

(1) 前回協議事項の確認

- 第三回 道央ブロック協議会（後志） → 瀬尾青年部長が報告
- 第三回 道北ブロック協議会 → 土田道北ブロック長が報告
- 全道青年委員会連絡会議

(2) 平成 25 年度 役員紹介

(3) 平成 25 年度 道央ブロック協議会キーワード

「ひろげる・つなげる」 → 石塚が説明

(4) 平成 25 年度 事業計画

- ML（メーリングリスト）の再構築について

既存のMLが煩雑になってしまった為、リニューアルすることになります。4月中を目処に準備を進めています。 → 石塚が説明

- メンバーカルテの配布

最新版のカルテを全員に配布した。

- 支部活動報告シートの製作

各支部より集まったシートを配布した。（小樽・恵庭・後志）

- 道央ブロック協議会関連行事予定表の作成

※瀬尾さんより、グーグルカレンダーを利用してはどうか・・・という意見があった。 → 詳細を検討します（石塚返答）

- 「住宅クレーム 110 番」に変わる道央ブロックとしての事業

道央ブロック独自の事業を行っていくべきなのか、行うのならどのようなものが良いか・・・ということについて、次回の協議会までに各自検討しておいてもらうこととした。

- 業務に役立つ情報の発信

引き続き情報を発信していきます。 → 石塚が説明

(5) 平成 25 年度予算

- 別紙予算書にて説明

(6) その他連絡事項

- 協議会開催時期と担当支部の確認

※第 2 回 札幌支部 7 月 13 日（土曜日）に決定

※第 3 回 岩内支部 11 月を予定

- 青年建築士の集い（日高大会）について

※松本本部青年委員より説明

- 全道大会・青年サミット（恵庭大会）について

※安保青年部長より説明

- 全国大会（島根大会）について

※針ヶ谷青年委員長より説明

(7) 各支部事業予定及び経過報告

※各支部の青年部長に発表してもらった。